

# 日本の子ども研究

— 復刻版解題と原著論文 —

大泉 溥編

クレス出版

A5判/360頁/並製 ISBN 978-4-87733-487-1  
本体価格8,800円（税別）

20世紀末から今世紀にかけてわが国で生じた「子ども学」ブームが契機となり本復刻シリーズ『日本の子ども研究』は編集された。〈中略〉

この復刻版『日本の子ども研究—明治・大正・昭和—』では、1929年の世界大恐慌の波及や太平洋戦争などを重視して編集した。

明治以降における子どもの生活の社会化を背景として子ども研究の歴史を見れば、戦前・戦後の断絶と連続が論点となる。そこで、原著論文では、従来の子どもの理解のあり方や1930年代の児童学論争と子どものからだ問題、生活の視点と戦後ヒューマニズム、心理学の実践性、児童問題の精神病理学的アプローチから精神衛生的児童相談へ、北大幼稚園など子ども研究の条件づくりを歴史的に研究した論文を収録している。〈中略〉

子どもを研究する科学は、日本の子どもの生命の尊厳、子どもらしく生きる権利と自由を守る橋頭堡となり、ベース・キャンプとする必要がある。実践にかかわる研究者が混迷のドツボにはまりがちなので、歴史研究は日本の子どもたちやその家族を守るために、先人の知恵と工夫を掘り起こし、今日的に役立てたい。現場職員たちの間に希望の光を灯し、せめて大輪の打上花火で子どもたちの顔を空に向け出さる。これこそ、歴史研究の醍醐味である。日本と世界の子ども研究に挑もうとする研究者にとって、本書が分断と差別に抗して共感と連帯の輪を駆け、確かなものにしていく一助となれば、幸いである。

— 「発刊にあたって」より抜粋 —

「日本の子ども研究」復刻版の刊行から一〇年。  
解題とともに、日本の子ども教育の第一人者をはじめとする、  
六名による原著論文を新たに書き下ろした一冊。

<収録内容>

第Ⅰ部 復刻版『日本の子ども研究』の解題

第1章 復刻版の企画と編集

【付録】 復刻版『日本の子ども研究』の収録文献一覧

大泉 溥

第2章 復刻版に収録した文献の解説

大泉 溥

第Ⅱ部 日本の子ども研究に関する原著論文集

特論1 倉橋惣三の方法と『子ども学のはじまり』

—「保育者」が「保育の中の子ども」を理解すること—

川田 学

特論2 山下徳治の児童学と富士川游の児童研究にみる1930年代の子ども研究

前田 晶子

特論3 城戸幡太郎の子ども研究

—「立場」と「生活」から「ヒューマニズム」へ—

田岡 昌大

特論4 留岡清男の実践思想に注目して

—不良児研究における実践性の問題—

加藤 弘通

特論5 留岡清男の「児童研究所」構想についての覚書

大泉 溥

特論6 奥田三郎の子ども研究

—教育臨床における生活という視座—

間宮 正幸

第Ⅰ期 子ども理解の科学化 —明治・大正期を中心に—

第1巻 欧米児童研究の移植と初期の研究

定価19,000円(税別) ISBN978-4-87733-471-0

第2巻 児童観の進展と心理学への期待

定価22,000円(税別) ISBN978-4-87733-472-7

第3巻 発達研究の開拓と知能検査の翻案

定価22,000円(税別) ISBN978-4-87733-473-4

第4巻 大正新教育と学力評価

定価19,000円(税別) ISBN978-4-87733-474-1

別巻Ⅰ 近代日本の児童相談

定価13,000円(税別) ISBN978-4-87733-475-8

第Ⅱ期 子ども理解の拡がり と 試練 (一)

第5巻 昭和初期の心理学と実践

定価22,000円(税別) ISBN978-4-87733-477-2

第6巻 一九三〇年代日本の児童研究

定価20,000円(税別) ISBN978-4-87733-478-9

第7巻 留岡清男の子ども研究と生活教育論

定価20,000円(税別) ISBN978-4-87733-479-6

第8巻 奥田三郎の子ども研究と治療教育方法論

定価20,000円(税別) ISBN978-4-87733-480-2

第Ⅱ期 子ども理解の拡がり と 試練 (二)

第9巻 児童心理学の戦中と戦後

定価26,000円(税別) ISBN978-4-87733-482-6

第10巻 戦後児童心理学の再出発

定価25,000円(税別) ISBN978-4-87733-483-3

別巻Ⅱ 戦後の教育心理学の起点

定価21,000円(税別) ISBN978-4-87733-484-0

別巻Ⅲ 児童心理学の総括

定価23,000円(税別) ISBN978-4-87733-485-7

第Ⅲ期 子ども理解の深まりと新しい実践性の獲得へ (一)

第11巻 障害児実態調査の戦前と戦後

定価26,000円(税別) ISBN978-4-87733-552-6

第12巻 戦後の児童学と「日本の子ども」という視座

定価26,000円(税別) ISBN978-4-87733-553-3

別巻Ⅳ 城戸幡太郎と日本の教育心理学

定価26,000円(税別) ISBN978-4-87733-554-0

第Ⅲ期 子ども理解の深まりと新しい実践性の獲得へ (二)

第13巻 田中昌人の発達過程研究と発達保障論の生成

定価25,000円(税別)

ISBN978-4-87733-556-4

第14巻 新しい子ども研究への胎動

定価26,000円(税別)

ISBN978-4-87733-557-1

第15巻 調査・研究の方法論的深化と実践性の獲得へ (品切)

別巻Ⅴ 日本の心理学者と子ども研究

定価22,000円(税別)

ISBN978-4-87733-559-5

【既刊】

日本の子ども研究

—明治・大正・昭和—

A5判・上製・クロス装

大泉 溥 編・解説

株式会社クレス出版

TEL03-3808-1821 FAX03-3808-1822

※書籍のお問い合わせは上記連絡先にお問い合わせ致します

株式会社クレス出版

編・解説 大泉 溥

番線

日本の子ども研究 —明治・大正・昭和—  
復刻版解題と原著論文集

A5判/並製/360頁

ISBN978-4-87733-487-1

本体価格8,800円(税別)